デンソー・東京大学　2027 年度　研究助成プログラム公募要項

1. 目的（趣旨）

本プログラムは、デンソー株式会社と東京大学による協創事業の一環です。協創事業は、エネルギー循環とデータ連携による社会価値の創出、社会インフラと協調したモビリティの進化、持続的な価値創造を支える技術基盤の強化と深化、未来社会を構想・実装する高度人材の育成の 4 つの重点テーマを通じて、モビリティを起点にエネルギーが循環し、データが社会全体の最適化に活用され、人々の時間や行動の可能性が広がる社会システムの実現を目指しています。本プログラムは、モビリティ等研究分野を対象とした学術研究の遂行を支援することを目的とするものです。

なお、本助成は、日本学術振興会特別研究員の研究奨励金、 SPRING GX の研究支援制度を受給している学生も応募可能とします。また、本助成の受給により、他の研究支援制度の受給資格等に影響が生じないかについては、応募者自身の責任において所属部局等へ確認してください。

2. 対象分野

「走るほど、満ちる社会へ：モビリティから広がる未来の社会価値」の実現に資する、独創的かつ先駆的な研究を対象とします。この実現のために、モビリティ（自動車・交通・物流・移動サービス・EV・自動運転）、半導体、AI、機械工学、電気・電子工学、生産システム工学、社会・安全システム工学、心理学など、幅広い分野を対象とします。

3. 助成の内容

(1)助成対象費用：研究の開拓、技術の開発等に必要な直接経費

(2)助成金額　　：本公募による助成

（案）原則、60 万円（上限）もしくは 30 万円（上限）とします。

(3)採択予定件数：20 件程度

※応募状況および審査結果により変更となる場合があります。

各研究課題への助成額は、申請内容および審査評価に基づき、以下の観点から総合的に決定します。

・研究計画の妥当性および実現可能性

・期待される成果および波及効果

なお、審査の結果、研究計画の一部見直しを条件として、助成額を調整のうえ採択する場合があります。

修士部門、博士部門あわせての件数となります。

(4)研究期間　　：2027 年 4 月 20 日～2028 年 2 月 29 日

4. 応募者資格

以下の(1)(2)を満たす者とします。応募時は他大でも助成対象時は東京大学に在籍があることを前提とします。

(1)

対象 (2027 年 4 月時点)	希望額 (申請額)	採択数 (予定)
修士１年または、医学部５年	６０万円（上限）	２件程度
	３０万円（上限）	５件程度
修士２年または、医学部６年	６０万円（上限）	２件程度
	３０万円（上限）	５件程度
博士１年	６０万円（上限）	２件程度
博士２年	６０万円（上限）	２件程度
博士３年	６０万円（上限）	２件程度

(2) 2026 年 12 月 14 日に開催される第 1 回デンソー東大ラボシンポジウム「走るほど、満ちる社会へ：モビリティから広がる未来の社会価値」を会場で参加することを奨励します。

(同シンポジウムは URL https://www.u-tokyo.ac.jp/focus/ja/events/z1701_00101.html より登録可能)

5. スケジュール

- 公募受付期間：2026 年 11 月 25 日 ～2027 年 1 月 6 日
- 選考期間　　：2027 年 1 月中旬
- 採択通知　　：2027 年 2 月下旬（予定）

※採否の結果は、応募者に通知します。

6. 選考方法

＜選考体制＞

- 学内有識者による選考委員会を設置・審議のうえ、採択者を決定します。必要に応じて外部有識者から意見聴取を行う場合があります。

＜選考基準＞

- 研究課題の学術的重要性、独創性および先駆性
- 研究方法の妥当性
- 期待される成果および波及効果

7. 応募方法

＜提出先＞

産学協創部協創課：デンソー東大ラボ推進室

※専用フォームの URL は、https://forms.gle/pVWD3QW6uYA9BXWv5 となります。

＜提出書類＞

デンソー・東京大学研究助成申請書（所定様式）記載言語：日本語

記載内容：氏名、新年度所属部局、新年度指導教員、現所属、現指導教員、現学年、主な研究実績、研究題目、研究概要、研究計画、助成金の費用別内訳、本プロジェクトのコンセプトについて、本プロジェクトのコンセプトとの研究との関係

添付書類：

●応募時点で修士 1 年、博士 1 年、博士 2 年、
医学部 4 年または医学部 5 年の場合：在籍証明書

●応募時点で学部 4 年または修士 2 年の場合：進学先に係る合格証明書

なお、採択者への助成金は、次年度の在籍または進学等が確認された後、所属研究室に配分し、部局において管理するものとします。

8. 助成対象経費（直接経費のみ）

- 人件費・謝金
- 消耗品費・備品費
- 旅費（国内・国外）
- その他、研究遂行上必要と認められる経費

＜計上不可の例＞

- 間接経費（オーバーヘッド）
- 飲食・交際費

9. 助成金の交付・執行管理

本助成金は、本部協創課から採択研究者の所属部局へ振替交付されます。助成金の執行及び管理は、所属部局にて行うものとします。（2027 年 4 月中振替交付予定）

なお、本助成金は、採択研究者の研究活動に全額を充てることとします。

応募にあたっては、現指導教員の了承を必ず得てください。進学等により研究室が変わる場合は、新年度指導教員の了承も得てください（応募時点で新年度指導教員が未定の場合は、助成金の配分までに得てください）。

10. 本助成金受給者の義務及び留意事項

(1) 研究期間中または終了後に採択研究者による研究報告会を開催しますので、研究成果等を発表してください。（デンソー及び東京大学の関係者が出席予定。詳細は後日通知します。）

(2) 研究の成果を外部発表する場合は、発表形式の如何を問わず、本助成金による支援を受けた旨を明示してください。

(3) 申請書記載内容に変更が生じた場合は、速やかに問合せ先まで届け出てください。

11. 研究倫理・コンプライアンス

人を対象とする研究、動物実験、遺伝子組換え、安全保障輸出管理等については、関連法令および学内規程を遵守し、必要な審査・届出を事前に完了してください。
利益相反については、学内規程に基づき、適切に自己申告・管理を行ってください。

12. 知的財産・成果の取扱い

本助成により得られた研究成果に関する知的財産は、原則として東京大学の規程に準拠します。デンソーとの共同研究や社会実装への発展が見込まれる場合には、早期にデンソー東大ラボ推進室に相談してください。

13. 個人情報の取扱い

応募情報は、審査、採否通知および採択後の管理を目的として利用します。
学外への情報共有が必要な場合には、適切な守秘措置を講じたうえで取扱います。

14. 取消・返還

重大な規程違反、不正行為、または研究の継続が困難と判断される事由が生じた場合には、採択の取消および助成金の全部または一部の返還を求めることがあります。

15. 問合せ先

東京大学産学協創部協創課：デンソー東大ラボ推進室
E-mail：dtl.adm@gs.mail.u-tokyo.ac.jp

16. 参考リンク

・「走るほど、満ちる社会へ」 協創事業概要
東京大学とデンソー、産学協創協定を締結 | 東京大学

以上